

フォームフィックスは、登録した画像とファイルを照合することにより、フォームの分類、及び位置合わせを行います。正確な位置合わせが行えることにより、オブジェクトの切り出しやOMR認識などもできます。

## ◆ 照合ロジック

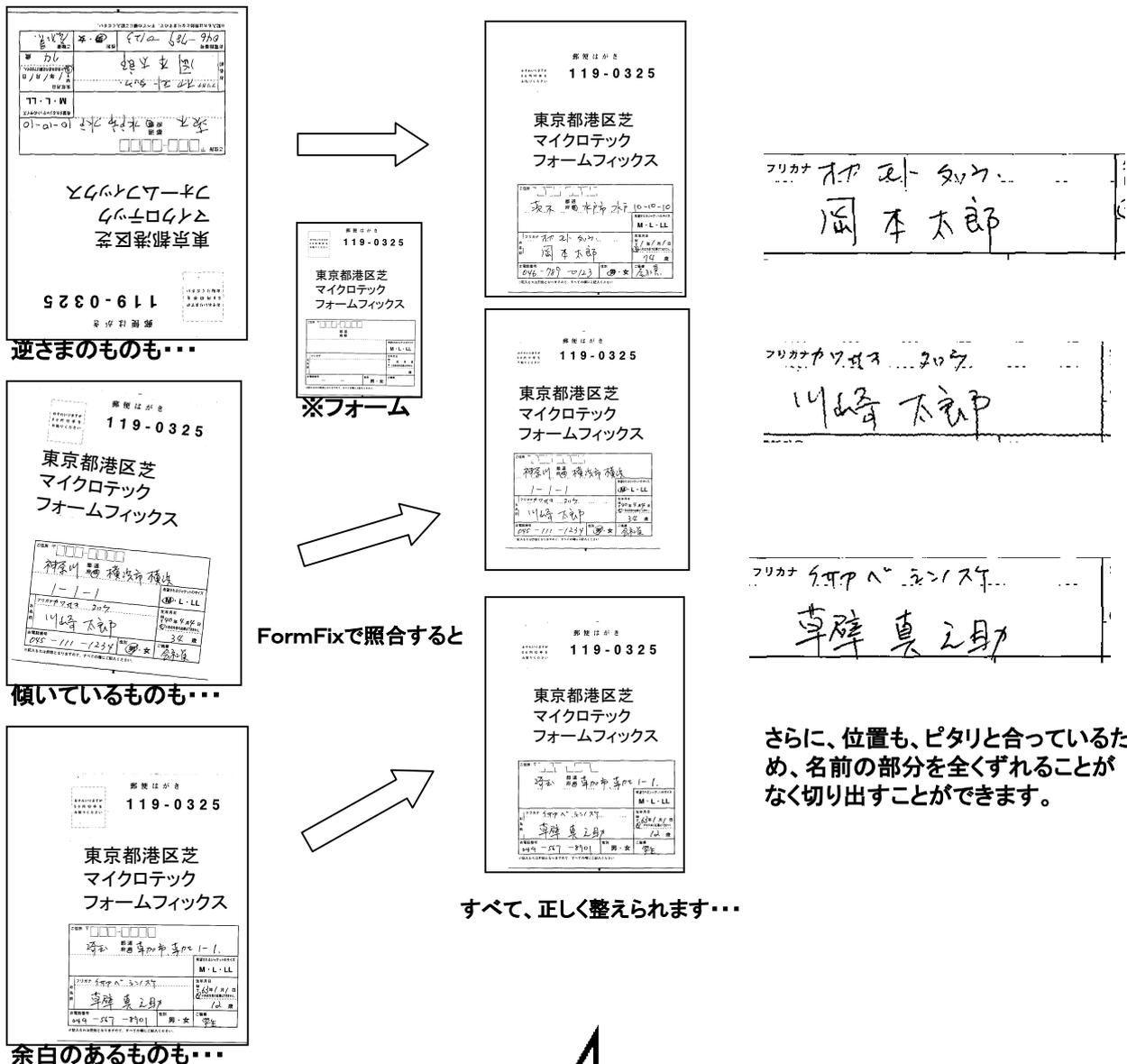
照合用のテーブル(テンプレート)に未記入のフォームを登録します。(登録方法は簡単)

照合の前に、自動的に傾き補正及び位置合わせをします。

照合は、タイトル文字、ガイドテキストの相対位置(ばらつき具合)で行います。

そのため、解像度、用紙サイズ、余白の有無等を、補正し、一定の位置に項目の記入欄をそろえることができます。

90度や180度に回転している画像も、回転させながら照合するため、正しい方向にそろえることができます。



# FormFix Application

FormFixには、その機能を有効に使うために、5種類のアプリケーションが用意されています。

## ◆ 1. フォーム切り貼り合成 (FFAP\_03)

フォームの指定した部分を切り取り、別の用紙に指定した大きさに貼り付けることができます。  
数種類のフォームの形を1種類に統一することができます。  
数種類のフォームから、必要情報だけを、統一したリスト形式に編集出力することができます。  
1種類のフォームから、情報ごとのリスト(名前だけリスト、住所だけリスト等)を編集出力することができます。

## ◆ 2. フォーム切り貼り合成複数連続情報タイプ (FFAP\_07)

表裏、連続ページ帳票など、1件の情報が複数枚のイメージに分かれる場合、それらの情報の連続性をとりながらイメージを切り貼り合成することができます。

## ◆ 3. 帳票分類システム (FFAP\_10)

帳票を認識して分類を行うと同時に傾き補正、正しい方向への回転、位置合わせなどします。  
帳票の種類毎にフォルダーに分けること、または、ファイル名の拡張子をリネームすることができます。  
OCR/イメージエントリーの前処理として使うことができます。

## ◆ 4. テキスト情報貼り付け (FFAP\_04)

CSV形式のテキスト情報を、画像上の指定した位置に画像として、貼り付け合成することができます。  
パンチデータの目視チェックなどに利用できます。  
画像ファイルのファイル名を、画像上に合成することもできます。

## ◆ 5. OMR(マークセンス)認識 (FFAP\_01)

登録されたフォームを認識し、その指定した部分に追記された情報があるかどうかを判別しオン・オフを出力します。  
フォームを認識するので、複数のフォームの混在もOK。  
登録フォームからの差分(追記データ)を認識するので、アンケートハガキなどマークシートフォーム以外でもOK。  
記入の有無をチェックするので、マークシート以外にも、記入漏れチェックなどにも利用できます。

# FormFix Toolkit

FormFixには、アプリケーション化されている機能以外にも、さまざまな有効な機能があります。アプリケーション化されていない機能を使う場合や、他のプログラムの一部として連動させるために、ツールキットが用意されています。ツールキットを用いたカスタマイズも承ります。

## ◆ フォーム除去機能

登録されたフォームを認識し、指定した部分の記入部分だけを残し、フォームを除去する機能です。  
ファイル容量の削減効果、などがあります。

## ◆ オブジェクト検索機能

画像内の特徴をもった物体、を探し出します。印影切り出し、ページ番号抽出などに応用できます。

※その他、いろいろな応用機能があります、ご相談ください。

動作環境	CPU	Pentium2 クラス 以上
	OS	Windows2000/SP3 WindowsXP/Professional 以上
	RAM	64MB以上
	Display	1024 × 768 以上

※上記仕様は、予告なしに変更される場合があります。

※記載されている各製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。



株式会社マイクロテック

〒108-0023

東京都港区芝浦2-3-31

第2高取ビル4階

TEL: 03-3798-5661

FAX: 03-3798-5663